

のびゆくこどもプラン 小金井(第2期小金井市子ども・子育て支援事業計画)事業進捗状況評価表3

目標1 子どもの安心・安全を守ります

1-1. 子どもの権利を守るための相談及び救済窓口を充実します

番号	事業名称 (担当課)	事業の内容	参考指標	実績	計画(年度)/実績(数値があるもののみ)					結果(年度)	
				H30	R2	R3	R4	R5	R6	R6	
1	子どもオンブズパーソン (児童青少年課) ＜重点事業＞	子どもの声を聞き「子どもにとっていちばんいいこと」を一緒に考えて考える場所を設置する。	子どもオンブズパーソン(仮称)の設置(設置後の実施状況も含む)	検討	検討	準備	実施	継続	継続	結果の説明 及び 次年度に向けての 課題、検討内容	【相談・救済】 令和4年9月に相談事業を開始し、令和6年度は開設から3年目にあたる。 新規相談件数48件。子どもが初回から直接相談に来るケースが半数以上(26件)を占め、その他初回が大人の相談についても、子ども自身から話を聞く活動を心掛け、最終的に全体の約7割(34件)の子どもたちから直接話を聞くことができた。総活動回数は231件。 【普及啓発】 その他相談室の周知及び子どもの権利の普及啓発活動を実施。令和6年度は市立小学校全校の6年生を対象に「子どもの権利学習」を実施した。(986人) 【課題】 「子どもの権利」及び「子どもオンブズパーソン」の認知度及び安定的な運用が課題。市内小中高生については、広報誌等を配布し定期的に周知啓発活動を行っているが、未就学児とその世帯及び子どもとかわりのない世帯に対する周知啓発活動が課題となる。 認知度向上のための継続的な周知啓発活動に加えて、周知が行き届きていない市民への啓発策を検討する。また、安定的な運用のため、相談・調査専門員の質向上研修なども引き続き行っていく。
										子ども・子育て会議意見	
2	虐待対応事業 (こども家庭センター) ＜重点事業＞	子どもを虐待から守るため、児童相談所や民生・児童委員、警察署、その他関係機関とのネットワークを強化し、関係改善が必要な親子へのサポートなどを行う。	虐待相談件数(件)	615	維持 1,091	維持 1,618	維持 1,480	維持 1,862	維持 2,744	結果の説明 及び 次年度に向けての 課題、検討内容	虐待相談件数(件)2,744件 ケース検討会開催回数(回)44回 虐待相談件数は前年度に比べ、引き続き大幅に増加した。こども家庭センター化したことで母子保健係との一層の連携が進み、母子保健事業を通じて気になる家庭を把握すること等により、庁内からの通告数が約1.4倍に増加した。また、学校への連携の呼びかけが浸透し、学校からの通告が約1.6倍増加した。不安定な世界情勢が続く中で、物価上昇や、先行き不透明な社会状況から子育てに対する不安や負担等に影響していると考えられる。 なお、ケース検討会議開催回数は前年度に比べ増加したところではあるが、必要に応じて実施したところである。 先行き不透明な社会状況もあり、大人側の経済的、社会的な不安要素が解決できない難しさがある。引き続き、関係機関との連携を密に、役割分担のもと、早期発見・早期対応に努める。
			ケース検討会開催回数(回)	73	漸増 45	漸増 53	漸増 52	漸増 42	漸増 44	子ども・子育て会議意見	

1-2. いじめ・虐待等の防止と早期発見を図ります

番号	事業名称 (担当課)	事業の内容	参考指標	実績	計画(年度)/実績(数値があるもののみ)					結果(年度)	
				H30	R2	R3	R4	R5	R6	R6	
1	虐待防止啓発事業 (こども家庭センター) ＜重点事業＞	子どもが相談できる窓口を周知するとともに、体罰などによらない子育てなどの相談を行う。また、要保護児童対策地域協議会での虐待防止マニュアルの活用や構成機関への巡回訪問を行う。	児童虐待防止キャンペーンの実施	実施	拡充	拡充	拡充	拡充	拡充	結果の説明 及び 次年度に向けての 課題、検討内容	要保護児童対策地域協議会構成機関(市内幼稚園、市内認可保育所、市立小・中学校等)への巡回訪問回数(機関数) 77機関/ 77機関 児童虐待防止キャンペーンについては、昨年度同様に市役所第二庁舎風除室スペースを活用し、啓発ポスター掲示やチラシ、リーフレットの配架、啓発グッズやこども家庭センター案内のポケットティッシュを配置し、また駅前での啓発グッズの配布を実施しており、多くの方に目にしていただき、リーフレット等手にとっていただくことができた。 巡回訪問では、学校等に子どもが相談できるようこども家庭センターを案内するグッズを配布した。 関係機関を巡回訪問するとともに、児童虐待防止の啓発に努める。要保護児童対策地域協議会への理解・協力を働き掛け、児童福祉施設・学校等の連携を強化していく。
			要保護児童対策地域協議会構成機関への巡回訪問回数(機関数)	45	拡充 64	拡充 68	拡充 76	拡充 76	拡充 77	子ども・子育て会議意見	

のびゆくこどもプラン 小金井(第2期小金井市子ども・子育て支援事業計画)事業進捗状況評価表3

目標3 子どもを生み育てる家庭を支援します
 3-1.経済的負担を軽減します

番号	事業名称 (担当課)	事業の内容	参考指標	実績	計画(年度)/実績(数値があるもののみ)						結果(年度)	
				H30	R2	R3	R4	R5	R6	R6		
1	施設等利用給付の上乗せ (幼稚園) (保育課) ＜重点事業＞	私立幼稚園等に在籍する子どもの保護者の負担軽減をさらに図るため、上限額に上乗せして給付を行う。	受給者数(人)	18,063	維持 17,895	維持 18,639	維持 16,894	維持 14,839	維持 12,902	結果の説明 及び 次年度に向けての 課題、検討内容	・受給者数(人)：12,902　人 前年度と比べ、施設等利用給付の認定者が減少したことに伴い、上乗せ受給者数も減少した。 ・受給資格者における受給者数の割合(%)100　% 施設等利用給付認定を受けている児童の保護者全員に対し、負担軽減を実施することができた。	
			受給資格者における受給者数の割合 (%)	100.0	維持 100.0	維持 100.0	維持 100.0	維持 100.0	維持 100.0			
			子ども・子育て会議意見									
2	施設等利用給付の上乗せ (認可外保育施設) (保育課) ＜重点事業＞	一定の基準を満たす認可外保育施設に在籍する子どもの保護者の負担軽減をさらに図るため、上限額に上乗せして給付を行う。	受給者数(人)	2,984	維持 2,941	維持 3,052	維持 2,731	維持 2,799	維持 2,672	結果の説明 及び 次年度に向けての 課題、検討内容	・受給者数　2,672人(4月～3月分) ・受給資格者における受給者数の割合　100% ・受給資格者における受給者数の割合 受給資格者のうち、施設等利用給付の上乗せを受給しなかった者は、基本部分で保育料が無償化となったためであり、受給資格者全てに対し、負担軽減を実施することができた。 引き続き事業周知に努めるとともに、さらなる保護者負担軽減についても検討する。	
			受給資格者における受給者数の割合 (%)	100.0	維持 100.0	維持 100.0	維持 100.0	維持 100.0	維持 100.0			
			子ども・子育て会議意見									
4	義務教育就学児医療費助成制度の拡充 (子育て支援課) ＜重点事業＞	病気やけがにより、健康保険が適用される医療行為や薬剤提供を市内在住の小中学生が受けた場合に、自己負担すべき額から通院一回あたり200円を控除した額を助成する。	所得制限の段階的廃止の進捗状況	検討	準備	拡充 (小学校4年生～6年生)	準備	拡充 (中学校1年生～3年生)	維持	結果の説明 及び 次年度に向けての 課題、検討内容	令和5年10月に中学生の所得制限を廃止し、同時に令和5年4月から開始した高校生年代の医療費助成の所得制限も廃止したため、高校生年代以下については、保護者の所得に関係なく医療費助成を受けられるようになった。	
										子ども・子育て会議意見		

のびゆくこどもプラン 小金井(第2期小金井市子ども・子育て支援事業計画)事業進捗状況評価表3

3-2.母子保健事業を充実します

番号	事業名称 (担当課)	事業の内容	参考指標	実績	計画(年度)/実績(数値があるもののみ)						結果(年度)	
				H30	R2	R3	R4	R5	R6	R6		
1	母子保健健康相談事業 ①乳幼児保健相談 ②乳幼児健康相談 ③出張健康相談 (こども家庭センター) ＜重点事業＞	育児不安の解消を図るため、保健師等に気軽に相談できる場を確保し、育児支援を行う。	乳幼児健康相談利用者数(人)	914	漸増 253	漸増 286	漸増 270	漸増 438	漸増 612	結果の説明 及び 次年度に向けての 課題、検討内容	乳幼児健康相談利用者数(人) 612 人 出張健康相談利用者数(人) 811 人 コロナ流行中、予約制で実施してきたものを、R5年度から予約制をなくし、自由来所で実施。利用者数はコロナ禍以前の相談状況に戻りつつある。 出張所健康相談は、5か所から6か所となったが、利用可能となった1か所はR6年度、施設側の都合で、年3回のみの開催となってしまった。	
			出張健康相談利用者数(人)	1,107	漸増 345	漸増 232	漸増 450	漸増 829	漸増 811			
			子ども・子育て会議意見									
11	産後ケア事業 (こども家庭センター) ＜重点事業＞	出産直後の母子に対して心身のケアや育児サポート等を行い、産後も安心して子育てができる支援体制を確保する。	産後ケア事業延べ利用者数(人)	—	実施 31	漸増 129	漸増 181	漸増 482	漸増 503	結果の説明 及び 次年度に向けての 課題、検討内容	産後ケア利用実績 日帰り利用者延べ数: 534人(前年比 125 %) 宿泊利用者延べ数: 134人(前年比 167 %) (R6年度より宿泊可能施設増加) 宿泊型については、受入施設が増えたことにより利用者が増えている。日帰り型についても、利用者からの評価も高く、利用が増えた。 次年度も引き続き、心身のケア、育児サポート等を行っていくため、サービスの充実を図りつつ、利用施設の拡充を検討していく。	
										子ども・子育て会議意見		

のびゆくこどもプラン 小金井(第2期小金井市子ども・子育て支援事業計画)事業進捗状況評価表3

12	子育て中の保護者グループ相談 (こども家庭センター) ＜重点事業＞	育児に強い不安や困難を感じている保護者を対象に、子育てや自分についての思いを話したり、必要な情報や支援を見つける場を関係機関と連携し、提供する。また、育児に関する日ごろの悩み相談や保護者同士の交流を必要とする保護者の継続支援を行う。	育児不安親支援事業延べ参加人数(人)	15	漸増 28	漸増 26	漸増 26	漸増 27	漸増 25	結果の説明 及び 次年度に向けての 課題、検討内容	育児不安親支援事業延べ参加人数(人) 25人 お母さんグループ延べ参加人数(人) 12人 育児不安親支援事業については、前年度に引き続き定着した参加者で実施できた。不安に思うことを話す場への参加ニーズはあり、不安軽減の場になっている。 今後は新たに支援の手を広げるため、こども家庭センター設置による母子保健事業との連携の中で本事業の周知を進めるなどの工夫を行っていきたい。 お母さんグループについては、利用状況に鑑み回数を縮小した。子どもと離れ、同じ立場の大人同士で交流できる機会が参加者のよりどころとなっている。 グループ活動が、大人同士の交流を通し、育児に関する不安や負担の軽減につながっているため、引き続き実施をしていく。
			お母さんグループ延べ参加人数(人)	127	漸増 61	漸増 43	漸増 17	漸増 17	漸増 12		
										子ども・子育て会議意見	

3-3.子育てに関する相談・支援、情報提供、学習機会を充実させ、支援を強めます

番号	事業名称 (担当課)	事業の内容	参考指標	実績	計画(年度)/実績(数値があるもののみ)						結果(年度)	
				H30	R2	R3	R4	R5	R6		R6	
1	子育て情報の提供 (子育て支援課) ＜重点事業＞	市報、ホームページ、子育てに関する総合冊子を活用するほか、民間の子育て支援サイト「のびのびーの！」と連携し、子育て情報の提供を行う。	市報、ホームページ、子育てに関する総合冊子を活用した情報提供	実施	継続	継続	継続	継続	継続	結果の説明 及び 次年度に向けての 課題、検討内容	「みんなで子育て応援ブック のびのびこがねいっ子2024」を発刊し、子育てに関する情報提供を行った。 また、小金井子育て・子育て支援ネットワーク協議会による、子どもが今の自分の気持ちでいたいところを検索できる子どもの居場所サイト「えにえに」の情報サイトの拡充に当たって協力し、その広報に努めた。	
			子育て支援サイト「のびのびーの！」との連携	実施	継続	継続	継続	継続	継続			
										子ども・子育て会議意見		
2	子育て総合相談 (こども家庭センター) ＜重点事業＞	こども家庭センターを窓口とした、子どもや子育てに関する総合相談、情報提供。関係機関と連携し、他の支援機関や子育て支援ネットワークづくりに繋げる。	相談件数(件)	3,087	漸増 4,414	漸増 5,429	漸増 5,452	漸増 6,013	漸増 7,248	結果の説明 及び 次年度に向けての 課題、検討内容	総合相談延件数(件) 7,248件 前年度に比べて増加している。 年齢別相談対応者においては前年度と同様に、未就学児の年齢層で増加している。 いつでもだれでもが相談できる窓口としての周知を促進し、子育ての悩みや不安の軽減の場、子どもが相談できる場になるよう、丁寧な対応と必要時の関係機関連携を推進していく。	
										子ども・子育て会議意見		

4-1.ひとり親家庭を支援します

4-2. 特別な配慮が必要な子ども(障がい児等)と家庭を支援します

[illegible]

のびゆくこどもプラン 小金井(第2期小金井市子ども・子育て支援事業計画)事業進捗状況評価表3

3	障がい児の緊急・一時預かり （保育課） <重点事業>	保護者の病気などで障がいのある子どもの一時的な預かりを必要とした場合、保育所や障がい者の施設で一時的に預かりを行う。	保育所での障がい児の緊急・一時預かりの実施	検討	検討	検討	検討	検討	検討		結果の説明 及び 次年度に向けての課題、検討内容	一時保育の職員体制等の理由により、実施することは困難であるが、児童発達支援センターにおいて実施することを引き続き検討する。
											子ども・子育て会議意見	

目標6 地域の子育て環境を整えます

6-1.地域の子育てネットワークを整備します

番号	事業名称 (担当課)	事業の内容	参考指標	実績	計画(年度)/実績(数値があるもののみ)					結果(年度)	
				H30	R2	R3	R4	R5	R6	R6	
1	子育て支援ネットワーク (子育て支援課) ＜重点事業＞	保育所、幼稚園、子育てサークル、NPOなどの子育て支援団体との協働によるネットワークづくり、相互援助と情報発信を行う。	子育て・子育て支援ネットワーク協議会参加団体数(団体)	68	漸増 94	漸増 100	漸増 108	漸増 119	漸増 116	結果の説明 及び 次年度に向けての 課題、検討内容 子育て・子育て支援ネットワーク協議会参加団体数(団体)116団体 小金井子育て・子育て支援ネットワーク協議会については、様々な機会に積極的に呼びかけを行うことにより、新規加入団体を増やしてきた。なお、ネットワーク協議会の関連事業については、市職員も積極的に参加し、相互理解に努めるようにした。また、各団体の活動・取組状況については、子育てメッセこがねいや小金井子育て・子育て支援サイト等から把握に努めたところである。 次年度においても、小金井子育て・子育て支援ネットワーク協議会が安定的、継続的な活動を行えるよう、引き続き補助金を交付する。また、市内の団体加入促進を始め、活動の広報等支援を行っていく。	子ども・子育て会議意見

6-3.地域の公共施設の活用を進めます

番号	事業名称 (担当課)	事業の内容	参考指標	実績	計画(年度)/実績(数値があるもののみ)					結果(年度)	
				H30	R2	R3	R4	R5	R6	R6	
1	子育てに配慮した公共施設の改善 (子育て支援課) ＜重点事業＞	子連れで外出しやすいよう公共施設の環境を整備する。市の施設については、おむつ替え、授乳スペースを設置する等、子育てに配慮する。	赤ちゃん休憩室事業の実施	実施	継続	継続	継続	継続	継続	結果の説明 及び 次年度に向けての 課題、検討内容	移動式赤ちゃん休憩室貸出件数(件) 4件 市ホームページの掲載に加え、市報やX及びLINEでの広報に努めたものの、貸出件数は伸びなかった。 引き続き周知に努め、機会に応じて貸し出し、事業の実施を継続する。
			移動式赤ちゃん休憩室貸出件数(件)	9	漸増 0	漸増 0	漸増 2	漸増 3	漸増 4		